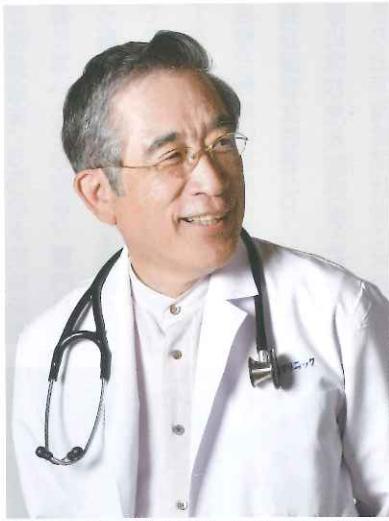


ペインクリニックと新しいスタイルの介護を武器として 医療と介護の複合体で地域を支える



ショートステイの概念を変える、リゾートホテルをイメージした KAGOYA Resort



あさがおグループ 理事長・医師 保岡 正治 氏

あさがおグループとしての連
今年4月には小規模特養の整
備をもつて、医療・介護の複合
体を構築しました。今後は、

あさがおグループが事業を展開する、
人口約25万5000人の徳島市は、吉野
川の河口に位置し、江戸時代には徳島藩
の城下町として栄えてきた。毎年8月
に行われる阿波踊りは、約400年の歴
史を持ち、期間中は全国から100万人
を超える観光客が集まる。一方、我が国
全体で急速に進む少子高齢化の影響を
受けて、徳島市でも近年、毎年1,000
人ほど人口が減少し続けており、そのス

ピードは加速度的となつていて。
こうした中であさがおグループは、医
療においては「どなたにも納得いただけ
る医療と介護の提供」を、介護においては
「自分らしくわがままに」という理念を
掲げ、医療・介護・障害・児童・地域を支
える様々なサービスを提供。現在、グル
ープの職員総数約230名、売上高約12億
円という規模を誇っている。グループ理
事長の保岡正治氏は、次のように話す。
「私たちグループはまず医療法人と
して、徳島県下一円を対象とした痛みの
治療を専門とするペインクリニック診療
と、地域包括ケアの充実を目指した地域医療活動の両輪で
運営してきました。1997年には社会福祉法人を設立し
て介護福祉事業の充実を進め、

ペインクリニックを診療の主体に、訪問診療や看取りも含めた地域包括ケアの充実を目指す医療法人と、従来の介護のイメージを打ち破る斬新なスタイルで急成長する介護・福祉事業。これらをグループ成長の大きな牽引力として注目を集めているのが、徳島市に拠点を置くあさがおグループである。その戦略と実践を知るべく、話を伺った。

医療と介護の複合体構築で 地域の医療・介護・福祉を守る

ピードは加速度的となつていて。

こうした中であさがおグループは、医
療においては「どなたにも納得いただけ
る医療と介護の提供」を、介護においては
「自分らしくわがままに」という理念を
掲げ、医療・介護・障害・児童・地域を支
える様々なサービスを提供。現在、グル
ープの職員総数約230名、売上高約12億
円という規模を誇っている。グループ理
事長の保岡正治氏は、次のように話す。

「私たちグループはまず医療法人と
して、徳島県下一円を対象とした痛みの
治療を専門とするペインクリニック診療
と、地域包括ケアの充実を目指した地域医療活動の両輪で
運営してきました。1997年には社会福祉法人を設立し
て介護福祉事業の充実を進め、

あさがおグループ——徳島県徳島市

上から、平成9年に開所したケアハウスあさがおの外観。地域密着型施設として整備した、路地のある日本建築の小規模多機能型居宅介護と高齢者向け優良賃貸住宅あさがお。地域密着型介護老人福祉施設 KAGOYA LIFE の整備により敷地内で軽度から重度介護までの対応が可能。回廊型 2 階建て園庭のみつぼしこどもえん。ごちゃまぜ福祉の Tsuda-Machi-Kitchen。どれもコンセプトが明確であり、地域に根差した取り組みに尽力している。

携体制を整え、超少子高齢化地域の医療・介護・福祉を守ることを理念に、活動していきたいと願っています」

ベインクリニックという
プラスαの強みを活かした医療

ケア病床を開設して今に至る。



医療法人あさがお会
保岡クリニック論田病院
院長 保岡 宏彰 氏

医療法人あさがお会と並び、

時代のスピード感に合わせた 新たな福祉と雇用の創出

その後、リハビリテーション棟の開設などを経て、1994年には医療法人あさがお会を設立。さらに医療法人設立の翌年には「イケアセンター」「あさがお」、その3年後には「訪問看護ステーションあさがお」を設立した。2000年からは介護療養型医療施設としての運営を開始し、2017年には地域包括

医療と介護の複合体構築によって地域を支えるあさがおグループは、医療法人社会の2つの法人によって構成されていく。グループの始まりは1979年9月、徳島駅前の八百屋町での、痛みの治療を専門とするベインクリニックの診療所である「保岡クリニック」の開業であった。2年後には論田町に移転し有床診療所となり、1985年、「保岡クリニック論田病院」を開設した。

その後、リハビリテーション棟の開設などを経て、1994年には医療法人あさがお会を設立。さらに医療法人設立の翌年には「イケアセンター」「あさがお」、その3年後には「訪問看護ステーションあさがお」を設立した。2000年からは介護療養型医療施設としての運営を開始し、2017年には地域包括

現在、保岡クリニック論田病院は、ペインクリニック内科を診療の主体に、一般内科とリハビリテーション科を擁し、47床を有する病院として入院治療も積極的に行っている。また地域医療として、高齢者への在宅サービスのための訪問診療や往診、終末期の看取りも地域における大切な役割となっている。

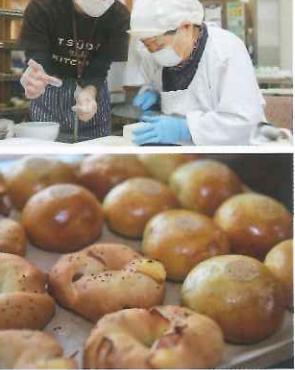
クリニックの開設当時は、ペインクリニックに対する社会の認知度は低く、治療内容を理解できない患者も多かつたといふ。しかし現在、ペインクリニックによる疼痛治療は一般にも広く知られるようになり、保岡クリニック論田病院自体も、長年にわたる疼痛治療の実践が評価され、治療を受けた患者からの口「ミ やインターネット検索などで、地元はもとより、県内全域から患者が来院するようになつていて。

また同院は、地域包括ケア病床と医療養病床、2つの入院施設を有していることから、専門とする痛みの治療が必要な患者だけでなく、急性期病院から退院してもすぐに在宅復帰が困難な患者や、医療依存度が高く在宅療養が困難な患者など、様々な状態に応じた入院治療も可能だ。その上で高齢化社会に対応すべく、後述する福祉・介護施設との連携をはかりながら、速やかに柔軟な地域包括ケアシステムを心がけていると、院長の保岡宏彰氏は語る。

「地域包括ケアシステムの構築が今後の医療経営を安定する鍵と言われて久しいですが、更に差別化をはかるためのプラスαが必要と考えます。当院ではそのプラスαとしてペインクリニック診療を専門として掲げ、幅広い年齢層の方に対し治療を行っています。近年、社会問題となつている慢性疼痛や、高齢者にみられるサルコペニア、フレイルに対しても、ペインクリニック診療が非常に役立っていますね」



左上から神経ブロックの様子。神経や神経の周辺に局所麻酔薬を注射し、痛みの伝わる経路をブロックすることで痛みをなくす方法。病院の外観。患者様に寄り添い丁寧診察。左下からアジア慢性期医療学会に日本医師として参加・発表。今までに発行してきた専門誌。保岡正治氏の著書「ペインクリニックに必要なリハビリテーションの知識」(2005年発行)「慢性期医療における痛みのコントロール」(2020年発行)。医療と理学療法士の連携によるリハビリの様子。



上から、Tsuda-Machi-Kitchen（高齢者通所介護）内での様子。事業所内には、通所介護・放課後等デイ・ユニバーサルカフェがあり一般の方も買い物に来られる。こども食堂の様子。高齢通所介護と同じ空間で運営される Tsuda-Machi-KIDS（放課後等デイ）の様子。料理療法による機能訓練の様子。惣菜パンなども販売し地域の方に人気を博している。

現在のあさがおグループの成長を支えているのが社会福祉法人あさがお福祉会である。1997年9月、定員50名の軽費老人ホーム「ケアハウスあさがお」開設から歩みを始めた同法人は、地域密着型介護老人福祉施設や小規模多機能型居宅介護、グループホームなどの高齢者向け福祉サービス、児童発達支援事業や放課後等デイサービスなどによる障害者向け福祉サービス、幼保連携型認定こども園や学童保育による児童向け福祉サービスと、3つの福祉サービスを展開し、グループ成長の大きな牽引力となっている。あさがお福祉会CEO 兼法人統括施設長の保岡伸聰氏は、次のように話す。

「今、福祉は時代の産業の中心にあるのにも関わらず、その変化のスピードは遅く、制度も法律も、そして事業者も停滞している感は否めません。だからこのように話す。

開設から歩みを始めた同法人は、地域密着型介護老人福祉施設や小規模多機能型居宅介護、グループホームなどの高齢者向け福祉サービス、児童発達支援事業や放課後等デイサービスなどによる障害者向け福祉サービス、幼保連携型認定こども園や学童保育による児童向け福祉サービスと、3つの福祉サービスを展開し、グループ成長の大きな牽引力となっている。あさがお福祉会CEO 兼法人統括施設長の保岡伸聰氏は、次



社会福祉法人あさがお福祉会
CEO 兼 法人統括施設長
保岡 伸聰 氏

そ、これまでの福祉という業界の枠を超えた、新たな福祉の創出、またそれによる新たな雇用の創出、さらに一〇一二等を活用した生産性アップを実現し、その成果や可能性を地域から全国、またアジアをはじめとした世界も見据えつつ、発信していきたいと考えています」

つだまちキッチンにみる新しい福祉の形

保岡CEOの強力なリーダーシップのもと、あさがお福祉会は従来の社会福祉事業のイメージを覆すよう、数々の先駆的な取り組みを展開し、それが大きな成果を挙げている。その象徴的な施設が、2015年5月にオープンした高齢者デイサービス・放課後等デイサービス・ユニバーサルカフェが一つの空間で運営されている「Tsuda-Machi-Kitchen」である。

さらに、ユニバーサルカフェを併設していることで、カフェに買い物や食事に来た人、あるいはここで行われる子育て支援イベントや地域交流イベントの参加者、こども食堂の利用者、放課後等デイサービスの子供たちなど、さまざまな世代の交流による相乗効果も、新しい福祉の在り方として注目されている。

「現在 デイサービスの定員は1日25名で、利用者様の介護度は、開設当初は要支援の方が多かったのですが、最近は少し介護度が進み、平均すると要介護1.5」というところです。今後も地域

飛躍基金補助事業を活用した建物は、まさにお洒落なカフェといつた雰囲気で、社会福祉法人が運営する施設には見えない。提供されるサービスの内容も独創的で、たとえばデイサービスの一環として、希望者には料理による機能訓練を実施。利用者が、その日のデイサービスの昼食となる、管理栄養士オリジナルレシピによる料理の調理に関わることで、ADLの向上だけでなく自尊心や心のケアにも繋がり、認知症予防にも効果的だといつ。



左上から、KAGOYA Resort（ショート）内でのパソコン指導サービス。ケアハウス内ではカフェを常設。専従のスタッフも配置し日常生活を豊かにしている。障がい者グループホームは女性専用で清潔でお洒落な空間を整備。各高齢者介護施設では、足元までガラス張りにすることで、円背や車いす等視点の低い高齢者の方でも景色を楽しんでもらうことが出来るよう配慮し設計している。

KAGOYA Resort（ショート）の外観と外部スタッフによるヘッドスパエステの様子。KAGOYA LIFEではエントランスにカフェを設置して、同一敷地内の学童児童にその運営を委託し、地域が集う場所として機能させている。みつぼしこどもえんのコロナ禍における世界初の東京の俳優によるオンライン演劇レッスンの風景。レッジョエミリアアプローチのアート活動。



社会福祉法人あさがお福祉会
KAGOYA Resort
管理者 武市 茂憲 氏

とのつながりを大切にし、Tsuda Kitchenを利用していることが、利用者様にとって、またここで働く私たちにとってもステータスになることが今の目標です」と、管理者である田中智子氏は話してくれた。



従来の介護や福祉に捉われない
自由で新しいスタイルを実現

「KAGOYA Resort」だ。2017年開設の短期入所型生活介護室（ユニット／全室個室）のショートステイだが、その外観や施設は名前の通りリゾートホテルのような設え。檜風呂が楽しめる大浴場やヘッドスパ・フットスパルーム、さらにカフェコーナーを完備し、非日常を意識したレスバイトケアの

強い想いが表れています。それにより職員も、前向きな気持ちで介護の仕事を取り組めています」と強調する。

また、昨年4月にオープンした地域密着型介護老人福祉施設「KAGOYA LIFE」（定員29名3ユニット）では、同一敷地内にある学童保育の子どもたちが主導となって、週1回程度ごども力フエを開催。子どもたちが社会性を学

力フェアを開催。子どもたちが社会性を学ぶとともに、福祉をより身近に感じてもらえるような取組みを行っている。あさがお福祉会介護部長で、KAGOYA L-FEE管理者でもある西川珠姫氏は、今はKAGOYA L-FEEとしての介護サービスを確立することが課題である

提供を実現している。管理者の武市茂



社会福祉法人あさがお福祉会
介護部長 西川 珠姫 氏



と述べた上で、「ハーベイ画でもソフトウェアにおいても、いかにも介護といったものではなく、より一般的のニーズに近い形でのサービスを提供する」として利用者様の満足度ははもちろん、職員に対してもより動かせや

のグループ研修を実施し、職員の特技や知識を共有することで、より良いコミュニケーションが生まれ、職員全体の進むべき方向性が明確になつてきていると感じています」

た
あさかおクルーのやるなる成長は
今後も注目していきたい。

◆Information あさがおグループ

医療法人あさがお会 保岡クリニック論田病院
〒770-8011 徳島県徳島市論田町大江6-1
TEL 088-663-3111(代表) FAX 088-663-4357(代表)



社会福祉法人あさがお福祉会

〒770-8012 徳島県徳島市大原町外籠38
TEL 088-660-7007(代表) FAX 088-660-7557(代表)
<http://www.takemoto-kogyo.co.jp>

- 【主な関連施設】
- 医療サービス
- ・保岡クリニック 談田病院
- ・シニア若者向け福祉サービス
- ・ケアハウスあさがお(輕費老人ホーム)
- ・ホームヘルパーステーションあさがお
　　(介護予防・訪問介護事業者)
- ・ケアネットあさがお(居宅介護支援事業者)
- ・グループホームあさがお
　　(介護予防・認知症対応型共同生活介護)
- ・小規模多機能型居宅介護あさがお
- ・高齢者向け優良賃住宅あさがお
- ・KAGOYA Resort(ショートステイ)

- ・KAGOYA Stay(有料老人ホーム)
- ・KAGOYA LIFE(小規模特養)
- ・Tsuda-Machi-Kitchen(通所介護)
- 障がい者向け福祉サービス
- ・Tsuda-Machi-smileKIDS(児童発達支援事業所)
- ・Tsuda-Machi-KIDS(放課後等デイサービス)
- ・Tsuda-Machi-Living, Tsuda-Machi
Livingリバーパージ(共同生活援助)
- 児童向け福祉サービス
- ・みづほしこどもえん(幼保連携型認定こども園)
- ・あさがお学童保育クラブ
- 地域向けサービス
- ・ユーナースナルガルフ(地域交流事業)